

やまぎ

# ハーモニカでなつかしい歌を

## 民生委員ハーモニカグループ

5月30日、防災センターの一室から懐かしいハーモニカの音色が聞こえてきました。この日は、山崎民協ハーモニカグループの練習日でした。

活動の始まりは、一昨年の秋ごろ、民生委員の活動の中であるひとり暮らしの高齢者の自宅を訪問したとき、ハーモニカを演奏するとすごく喜ばれたというのが話題になり、みんなで練習しようかということになったのがきっかけだそうです。

メンバーのひとり中谷哲男さ



グループのメンバーは現在12名、月2回の練習には、毎回5、6名が参加しています。

んは、「ある施設でハーモニカを披露したとき、高齢者の方が涙を流して口ずさんでおられた光景が忘れられない。ハーモニカには、懐かしさを共有できる魅力がある」といわれます。

現在、施設などでの演奏は、グループのメンバーが単独でおこなっていますが、ゆくゆくは、みんなで演奏できるようにしていきたいとのこと。

福祉施設のみなさん、出演の依頼をお待ちしています。

(山崎支部 阿曾秀樹)



中谷さんのJAオアシスのデイサービスセンターでの演奏。レパートリーは60曲。(5月26日)

いちのみや

# 地域に根付く福祉施設に

## まどかホ和トフェスティバル

5月17日(日)、特別養護老人ホームまどか園において、「まどかホ和ト(ほわつと)フェスティバル」が開催されました。

この福祉まつりは、まどか園を身近に理解していただき、より地域に根付く福祉施設になることを願って企画されたものです。

当日は、あじいくの雨と新型インフルエンザの影響もあり、屋外でのイベントが中止となりましたが、423名の参加がありました。

ホームでは、餅つきや抽選会、食事コーナー等が催され、地元住民をはじめ、利用者やその家族、



ベタンベタンといい音が…つきたてのお餅が振舞われました



毎年5月の第3日曜日に福祉まつりを開催予定。

ボランティアや施設関係者、職員スタッフ等で賑わいました。

まどか園では、これからも地域住民にとってより身近な施設として、みなさんの支援と協力を得ながら運営していくとのことです。

(本部・一宮支部 波多野好則)



カレー、そうめん、フランクフルト…食事コーナーは大忙し!



子どもたちをはじめ、だれもが金魚すくいに夢中です

読者の感想より

いつもふくしパズルを始め楽しみにしています。どんな行事がおこなわれているのかわかっていいです。(千種町:男性)